

# 西表島のヒルギモドキについて（第1報）

## 1 はじめに

ヒルギモドキは、熱帯及び亜熱帯のマングローブに生える常緑の小高木で、高さ10mに達します。日本では、沖縄県（沖縄本島、久米島、石垣島、小浜島、西表島）のみに自生し、沖縄本島が分布域の北限となっています。沖縄県では、樹高4m程度の個体が多く、マングローブ植物の中では陸化した湿地に生育しています。埋め立てや開発によって自生地が消失したり、潮流の変化等によって生育環境が悪化し自生地や個体数が急減しており、環境省のレッドデータブックの中で、ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種である絶滅危惧IA類（CR）に分類されています。

この度、西表森林環境保全ふれあいセンターで西表島のヒルギモドキ生育状況について調査を行いましたので、その結果を報告します。

なお、本調査は継続中であり、陸路でのアクセスが困難な箇所（舟浮など）については、今後備船での調査を行う予定であります。

## 2 生育地の概況

### 1) 与那田川

所在地

沖縄県八重山郡竹富町字西表国有林 137

ほ、138 ろ林小班

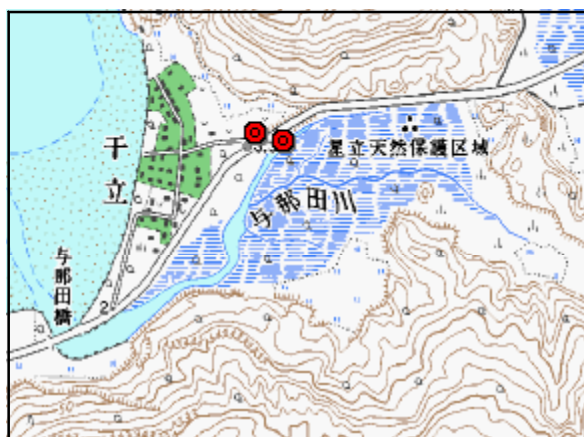
位置図は右記を参照

平均樹高、平均胸高直径

3.5m、8cm

周辺状況

県道の両側に生育し、群落を形成しています。周囲には、位置右側ではオヒルギ、ヤエヤマヒルギ、シマシラキ等が、位置左側ではオオハマボウ、イボタクサギ、ハマイヌビワ等が生育しています。



### 2) 稲葉

所在地

沖縄県八重山郡竹富町字西表国有林 137

ろ1、136 口林小班

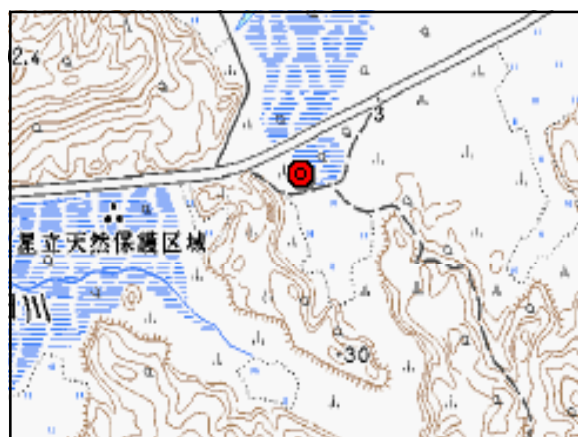
位置図は右記を参照

平均樹高、平均胸高直径

3.0m、4cm

周辺状況

県道から稲葉集落跡地へ向かう道沿いに生育し、群落を形成しています。周囲には、オヒルギ、アダン、オオハマボウ、イボ



タクサギ等が生育しています。

3) 浦内川

所在地

沖縄県八重山郡竹富町字西表国有林 136

ほ、ほ1林小班

位置図は右記を参照

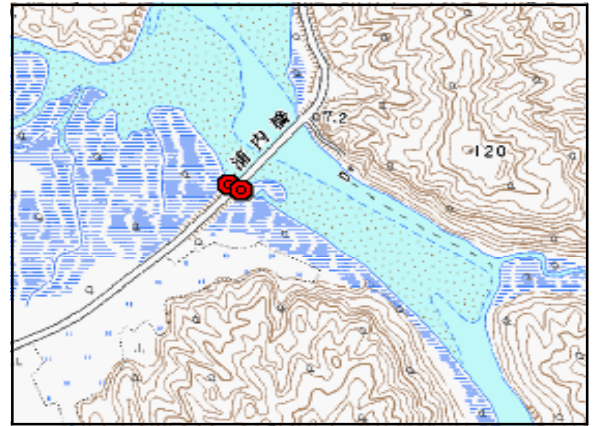
平均樹高、平均胸高直径

2.5 m、4 cm

周辺状況

浦内橋の下に数十本生育しています。

周囲には、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシ、メヒルギ、クサトベラ、アダン、モクマオウ等が生育しています。



4) 船浦

所在地

沖縄県八重山郡竹富町字上原国有林 208

イ林小班（琉球大学熱帯生物圏研究センター貸付地）

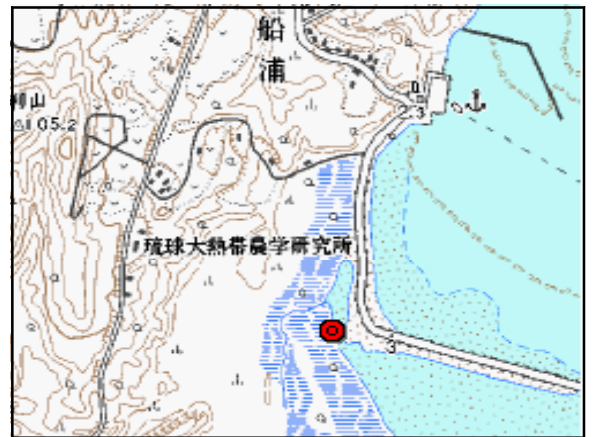
平均樹高、平均胸高直径

3.0 m、7 cm

周辺状況

船浦湾内に数十本生育しています。周囲

には、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、シマシラキ、トベラ、テリハボク等が生育しています。



5) 古見

所在地

沖縄県八重山郡竹富町字古見国有林 198

ろ林小班

平均樹高、平均胸高直径

3.0 m、7 cm

周辺状況

由布島の対岸に数十本生育しています。

周囲には、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、マヤブシキ等が生育しています。



### 3 ヒルギモドキの保護に当たっての留意事項

#### 1) 与那田川

星立天然保護区域に指定されていることから、現存のまま手を加えずに定期的に生育状況をモニタリングすることが必要です。

県道沿いに生育していることから、今後県道の改良工事等が行われる場合は土砂等の流入に十分注意することが必要です。

#### 2) 稲葉

国立公園第2種特別地域、保健保安林、森林生態系保護地域保全利用地区に指定されていることから、現存のまま手を加えずに定期的に生育状況をモニタリングすることが必要です。

#### 3) 浦内川

星立天然保護区域、国立公園第2種特別地域、水源涵養保安林、保健保安林、森林生態系保護地域保存地区及び保全利用地区に指定されていることから、現存のまま手を加えずに定期的に生育状況をモニタリングすることが必要です。

#### 4) 船浦

琉球大学熱帯生物圏研究センターへの貸付地であり、現在試験・研究用に使用されていることから、現存のまま手を加えずに定期的に生育状況をモニタリングすることが必要です。

#### 5) 古見

生育地は、民有地に隣接していることから農地の土地改良が行われる場合は、土砂等の流入に十分注意することが必要です。

生育地へのオヒルギ、ヤエヤマヒルギ、マヤブシキの侵入により、下記写真のように枯損木が大量に発生していますが、原因は潮流の変化等の自然的要因であると考えられること、潮害防備保安林に指定されていることから、現存のまま手を加えず定期的に生育状況をモニタリングすることが必要です。



以前は群落を形成していたと思われるヒルギモドキ枯損木

参考資料

## ヒルギモドキについて

- 1 和名 ヒルギモドキ
- 2 学名 *Lumnitzera racemosa*
- 3 科及び属 シクンシ科ヒルギモドキ属
- 4 特徴 根：他のマングローブとは違い地上に根を出しません。  
幹：幹は褐色でざらついています。  
葉：葉は、小さく互生し光沢があり、卵形で先がくぼんでいます。  
花：花弁は5枚で、小さくて白い花をつけます。  
実：実は緑色で、長楕円形をしています。



幹



葉



花



実

